団 体 名	NPO 法人 Peace & Nature		
団体の所在地	神戸市中央区	代表者名	バハラム イナンル

1. 事業名	夏休み 国際交流環境体験プログラム		
2.実施期間	平成23年7月20日から平成24年3月31日まで		
3.主な実施場所	神戸市北区、六甲山		
4.活動形態	普及啓発活動 実践活動		
5.活動内容·結果 (参加者、階層·人 数等)	・田んぼの草取り: 在神戸の外国人家族、松蔭女子大学学生 約15名 参加者は畑作業をするのが始めてで、作業の大変さ、大切さについて感じることができるイベントとなった。 ・ブルーベリー狩り&畑作業: 在神戸の外国人家族、日本人家族、松蔭女子大学学生 約45名 木からブルーベリーを摘み取り、フレッシュなブルーベリーパンケーキを焼いて食べ、旬を知り、ブルーベリーが木になっていることを学んだ。 ・畑作業&秋祭り de 交流: 在神戸の外国籍のこどもたちとその家族 約10名 さつまいもの収穫体験、地元の秋祭りに参加し、伝統的なスポーツである相撲を通じて交流をはかることができた。 ・森の大切さについて学ぼう: 各回約10名。ブラジル人、スリランカ人、日本人、こどもから大人まで幅広い年齢層。森の中に入り、適度に手入れされている状態が森の生態系にも大切であることを伝えられた。		
6.成果·反響· 反省点等	実際に、畑や田んぼ、六甲山で作業を体験することにより、自分たちがスーパーマーケットで見ている野菜がどのように実っているのかをしってもらう機会となった。また、化学肥料や農薬を使わず栽培しており、私たちが、自然界に存在する小さな生き物や植物と密接な関係にあり、共に生きていることを感じてもらえたようだ。六甲山でも、普段の生活では、山を見たり、登山をすることはあっても、そこに生息する木々にはあまり意識がいっていないと思われるが、今回の植樹により、山の存在がより身近になり、生態系を保つための手入れが大切であることを体感できたと思われる。 反省点としては、バイリンガルのイベントであったが、実際の作業中には、随時全員に通訳することが難しい場面も多々あった。事前にプリントアウトしたものを準備するなどの対策が必要。また、活動当日ではなく、事前に自然や環境について、レクチャーもしくは参加者がテーマを見つけておけば、より活動がいきたものになったかもしれない。		
7.成果物	なし		
8.活動写真説明			

日本人と外国人が共に自然から学んだ。